

障害者地域生活ピアサポート事業

精神障害者当事者ヘルパー2級取得講座を開催した際に、参加者が、自分たちも人を支援する仕事ができる、と感じたことが活動の始まりである。第一回ピアサポーター養成講座を開催すると、障害者以外にも、家族、地域住民等幅広い方々の参加があった。ピアサポートの場が出会いの場となり、地域で生活をする障害者のネットワーク作りにも寄与することができた。加えて、活動を続けていく中で、相談事業所において参加者を当事者相談員として採用もし、働く機会と場を作ることができた。

社会福祉法人 **夢の郷** 〒514-0818 三重県津市城山1-8-16
TEL : 059-238-0303 / FAX : 059-238-0304

◆ 法人の概要

法人設立年：平成10年

経営施設、事業（数）：11施設

経営施設、事業（種別）：

- 一体型共同生活介護・共同生活援助事業所（5事業所）生活訓練施設（1施設）生活介護事業所（2事業所）就労継続支援B型事業所（2事業所）就労支援事業所（1事業所）小規模作業所（1ヶ所）相談事業所（1事業所）

◆ 法人の理念・経営方針

■法人の理念

- ・人権を守り主体性の尊重に努める・地域で暮らすための環境整備に努める
- ・安心と安全の保障に努める

■経営方針

地域での暮らしを希望する障害者に、地域で自分らしい生活を実現するための支援を行う。生活相談、就労支援を含め、地域での日常生活支援を行い、在宅者の憩いの場として地域交流の機能も担う。

事業を通して地域へ発信し、安心なネットワークを作っていく。

◆ 実施施設の概要

施設名：アンダンテ

施設種別：障害者生活支援センター
定員は特になし

活動開始年：平成18年4月

活動の頻度・時間：月4回、1回あたり6時間

活動の対象者：障害者等

活動実施の背景、実施にいたった理由

- ① 平成17年度に専門学校の協力により、精神障害者当事者ヘルパー2級取得講座を開催した。講座演習の中で、助けられる関係から支援する仕事ができることを参加者は実感し、希望を見出した。
- ② 平成18年度に独立行政法人福祉医療機構の助成事業として、第一回ピアサポーター養成講座を開催した。障害者以外にも、家族、地域住民等幅広い方々の参加があり、「ピアサポート」に対する関心の高さを感じた。参加者からは、「出会いがあってよかった」「他の障害を理解することが出来た」「苦しんでいるのは自分だけでないことがわかった」「人を支援することは、自分の心の愛の水がいっぱいであることが大事」「来年もぜひこのような講座を開催してほしい」等の積極的な意見をもらった。
- ③ 以上の実践をとおして、当事者の気持ちに押されるように、平成19年度に第二回ピアサポート養成講座を三重県の委託事業として開催し、当事者相談員の働く機会と場を作ることを目指した。

実施内容

- ① ピアカウンセラー・ピアサポーター養成講座
養成講座の内容は、5回の研修・演習と30日の実地演習であった。
実習は、皆出席者の中から希望された3名に相談事業所、作業所、高齢者施設において実施した。
- ② 当事者相談員の活動内容
相談事業所において、週一回6時間の当事者相談員（ピアサポーター）として採用した。
本人は、「相手と一緒に時間が大切」と言い、一緒にコーヒータイムをしたり、話をしたり、ゆったりとした時間を過ごしている。
初めは、相談者が居ないことを心配しこれでいいのかと悩まれたが、5ヶ月経ち、ようやく自分のやり方を見つけ

始めた。

活動効果

ピアサポーター養成講座の実施と活動の結果、ピアサポーターは、「障がいがあるために、一生人の力を借りて生きていくのか」という諦めから、専門職がどのように共感しても届かない支援ができる機会と場所があることを見つけた。

当事者相談には、健常者や専門職にはない素晴らしい発想があり、自分の体験を活かした相談は、障害者や家族の生きる希望につながっていくと考えられる。

相談事業所でピアサポーターとしての活動は、職員に自分達の相談のあり方や、当事者への支援の態度が問われるようになり、緊張と新しい時代を感じるようになった。

結果として、地域で生活をする障害者のネットワーク作りに寄与することができた。

今後の課題

- ・ 講座受講者が、ピアサポーターとして活動できるよう継続して応援していくこと。
- ・ 養成講座を、ステップアップ講座として毎年開催し、ピアサポーターの輪を広げていくこと。
- ・ 当事者相談員がプレッシャーにつぶされないよう応援をしていくこと。
- ・ 当事者相談員が、気張らず、頑張らず自分らしいカラーで相談できるよう、時間をかけてゆっくりと共に歩んでいくこと。

